

応募要領（2020年後期）

ハワイ観測所岡山分室

観測申込に必要な書類の記入・提出について説明します。以下の要領をよくお読みください。本稿の内容に関するお問い合わせは seimei-openuse@nao.ac.jp までお寄せください。

1 はじめに

1.1 提出書類の概要

2020年後期から、観測申込はNOUS (NINS* Open Use System; <https://nous.nins.jp/>)にて行っていただきます。観測申込を行うためにはNOUSのユーザーアカウントが必要です。アカウントの登録申請を行ってから承認まで数日(休日を除く)かかることがあります。観測申込を予定されている方は締め切りまで十分余裕をもってアカウントの登録申請を行ってください。国立天文台研究集会など自然科学研究機構の他の公募に応募した際に作成したNOUSアカウントをお持ちの場合は、そのアカウントでログインして観測申込を行うことができます。提出書類のうち、従来のApplication FormとScientific Justificationに相当するものを、NOUSにログインした上で必要な情報を入力あるいはファイルをアップロードして提出して下さい。一旦提出した後も締切日時までは何度でも変更することが可能です。更に研究代表者が大学院生の場合は指導教員の承諾書も提出してください。以下に提出書類の概要を示します。これら書類の記入・提出方法については、後述の記入要領、提出要領を参照してください。

*NINS: National Institutes of Natural Sciences = 自然科学研究機構

1.1.1 観測申込書 (Application Form) の概要

- 研究課題の属性（課題名、概要、装置、Technical Descriptionなど）を、NOUSにログインして入力してください。
 - ログイン後、My Pageの”新規申請/New applications”から”Start: new application”をクリックします。
 - ”1. Select the institute.”では”NAOJ:国立天文台”を選択します。
 - ”2. Then, select the application category.”では”NAOJ-OBO-SEIMEI”を選択します。
 - 申請フォーム（Cover Sheet, Abstract, Technical Description etc.の3ページ）に必要事項を入力してください。
- 図、表を挿入することはできません。

1.1.2 科学的意義 (Scientific Justification) の概要

- 研究課題の科学的意義を記述してください。
- 書式について
 - ページ数の上限は2ページです。
 - 文書中に、図、表、参考文献を含むことができます。
 - 提出するファイルの形式はPDFとします。
 - その他、詳細は2.2 Scientific Justification を参照して下さい。
- Category「一般（クラシカル）」に申し込まれる方のうち、複数期にわたる観測を必要とされる場合は、全体計画や研究の進捗などを記述してください。詳細は2.2を参照して下さい。
- PDF形式のファイルをNOUSの申請フォームからアップロードして下さい。

※印刷・確認用にNOUSの申請フォームで作成した観測申込書と、アップロードしたScientific Justificationが結合されたPDFファイルをダウンロードすることができます。

1.1.3 指導教員の承諾書

申請者が大学院生の場合、観測時の事故等に対する責任のとれる指導教員等が共同研究者となり、かつ観測に同行し指導することを求めます。申請者は、指導教員の承諾書(形式自由、観測提案を提出すること、前文の内容を尊重すること、いずれも承諾した旨を記したものが、必ず指導教員から電子メールの添付PDFファイルとして seimei-openuse@nao.ac.jp へ提出されるように手配してください (NOUSの申請フォームからアップロードしないでください)。

1.2 審査と書類にかかわる諸情報

以下に、研究課題の審査と書類に関連のある項目を記述します。

1.2.1 審査の概要

申請者から提出された研究課題は、レフェリーによって、「科学的価値」が評価され、最後に「相対評価」(観測日時が限定されるクラシカル観測およびTo0観測の場合は、特定の日に観測する必要性や観測の緊急性の観点からの評価も含む)が行われます。せいめい小委員会では、レフェリーの評価結果を参考に、申請者グループの研究にかかわる諸状況を勘案して採択課題を決定します。

1.2.2 研究課題のレフェリー

申し込まれた研究課題は、1課題につき複数のレフェリーによって審査されます(「一般」の研究課題は原則として5名です)。レフェリーには、申請された研究課題のScientific Categoryを専門とする研究者が含まれますが、そのカテゴリーの研究者のみによって審査されるわけではありません。従って、研究分野の異なるレフェリーにも内容や重要性が理解できるような記述を心がけてください。

1.2.3 研究課題のカテゴリーとせいめい小委員会の審査

今期申し込み可能なカテゴリーは「一般(クラシカル)」、「一般(To0)」の2種類です。科学目的達成のために、「一般(クラシカル)」と「一般(To0)」の両方の観測モードが必要な観測課題は、「一般(To0)」として申し込んでください。せいめい小委員会では、「一般(クラシカル)」と「一般(To0)」は同列に審査されます。

2 記入要領

以下の要領を参考に、観測申込書(Application Form)と科学的意義(Scientific Justification)を御用意ください。記入要領に従っていない書類を提出した場合、審査の際に不利益な扱いを受けることがありますので御注意ください。

2.1 Application Form

- NOUSの申請フォームから観測提案書を提出するには申請者のユーザーアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合、<https://nous.nins.jp/>からアカウントの新規登録を行ってください。すでに国立天文台研究集会等の公募でNOUSアカウントをお持ちの場合はそのアカウントでログインしてください。もし解決困難な問題が生じた場合には岡山分室の共同利用担当(seimei-openuse@nao.ac.jp)までご連絡ください。
- 日本語もしくは英語で記述してください。
- 入力が必要となっている項目は全て入力していただくまで提出ができません(作成途中の保存や確認のためのPDFファイルへの出力は可能です)。
- 提出後も締切日時まで変更が可能です。
- **1. Category:** 「一般(クラシカル)」は「NC」、「一般(To0)」は「NT」を指定してください。「一般(クラシカル)」と「一般(To0)」の両方の観測モードが必要な観測課題は、「NT」を指定してください。また、新規(N)、継続(C)の別も指定してください。

- **2. Principal Investigator:** 研究代表者をNOUSに登録されている申請者の研究者情報から選択してください。
 - **Thesis:** 本観測をもって修士論文もしくは博士論文に充てる場合は、Yesにチェックを入れて下さい。
- **3. Institution:** この項目はP. I. の登録情報から自動入力されます。
- **4. Address:** この項目はP. I. の登録情報から自動入力されます。
- **5. Collaborators:** 必ず共同研究者全員の氏名、所属、職名または学年を記してください。この項目はNOUSに登録されている研究者情報から選択してください。NOUSに登録されていない方を追加する場合は、登録される方の了解を得た上で申請者が研究者情報を登録することができます。共同研究者が10名以上の場合は別紙に記し、Scientific Justificationの後に付加して提出してください。Scientific Justificationは2ページ以内ですが、リストを付加した結果として3ページ以上となるのは構いません。
- **6. Past Observations:** せいめい望遠鏡における過去3年間の割り当て状況を記入してください。申請者本人だけでなく、共同研究者などによる密接に関係した課題も記入してください。Success Rateには、プロポーザルに記載された目標が実際の観測でどれくらい達成されたかを記入して下さい。
- **7. List of Related Publications:** 申請する観測提案に関連する論文等を5件まで記載してください。
- **8. Supervisor:** P. I. が学生の場合は指導教員の情報をNOUSに登録されている研究者情報から選択してください。NOUSに登録されていない方を追加する場合は、登録される方の了解を得た上で申請者が研究者情報を登録することができます。
- **9. Abstract:** 観測提案の概要を簡潔に記述してください。研究分野の異なるレフェリーにも内容が理解できるような記述を心がけてください。
- **10. Scientific Category:** 申請する観測提案について適切と思われる研究分野を選択してください。
- **11. Instrument:** 今期はK00LS-IFUのみ利用可能です。
- **12. List of Targets:** 対象天体が恒星の場合、等級(バンド)と共にスペクトルタイプを記して下さい。対象天体が13個以上ある場合は、別紙として天体リストを作成し、Scientific Justificationの後に付加して提出してください。Scientific Justificationは2ページ以内ですが、リストを付加した結果として3ページ以上となるのは構いません。
- **13. Total Nights Requested in This Semester:** 研究課題が掲げる科学的目標を達成するために2020年後期の期間中に必要な、1回の観測あたりの夜数および観測回数、合計夜数(※)を記載してください。本項目の記載に当たっては、晴天率を1/3と仮定してください(ただし、To0観測の場合は晴天率を考慮しない観測時間を記載してください)。算出の根拠については19. Technical Descriptionで詳述してください。

※「一般(クラシカル)」と「一般(To0)」の両方の観測モードが必要な観測課題では、両方の観測希望夜数を合算した数字を記入し、第16項でクラシカル・To0のそれぞれに必要な夜数を明記して下さい。
- **14. Preferred Dates:** 観測日程の希望がある場合は、第3希望まで記入してください。希望する月・時期(early, mid, late)にチェックを入れて下さい。
 - **(Accept Time-shared Observations?):** 1夜の中で他の課題と合同するスケジュール割り付けの可否を記入してください。
 - **(Coordinated / Time-Critical Observations?)**
 クラシカル観測の場合：既に観測スケジュールの決まっている他の望遠鏡や衛星との同時観測や、特定の日時に起こる天文現象、特定の時期でないと観測困難な天体(太陽系小天体等)をターゲットとする観測など、観測日時が限定される場合はYesにチェックを入れて下さい。
 To0観測の場合：原則としてYesにチェックを入れて下さい。

• **15. Description Concerning Coordinated / Time-Critical Observations:**

クラシカル観測の場合：前項の” Coordinated / Time-Critical Observations?” でYesを選択した場合は、特定の日時・期間に観測しなければならない理由などを詳述してください。Noを選択した場合は記入の必要はありません。

To0観測の場合：To0発動から観測を始めるまでに許容できる時間やその理由など、観測の緊急性に関連することを記述してください。

• **16. Requests Concerning Scheduling:** 観測時の月齢を含めて、避けてほしい時期など、観測スケジュール割り付けに対する希望を記入してください。特定の日時・期間に観測する必要がある場合はその日付・時刻等を具体的に記述してください。To0観測の場合は、ここに発動条件を詳述してください。クラシカルとTo0の両方の観測モードが必要な観測課題では、クラシカル・To0のそれぞれに必要な夜数をここに明記して下さい。

• **17. Requests Concerning Instruments:** 特殊な観測を行いたい場合、具体的に内容を記述してください。実現性が不明な場合、別紙「ステータスレポート」を参考にして事前に問い合わせてください。KOOLS-IFUの場合は、使用するグリズムをここに明記してください。また、イメージローテータを使用する場合はここに明記してください。

• **18. Experiences:** 他の観測施設での観測も含めて、今回提案する課題に関連する観測経験を記してください。

• **19. Technical Description:** 希望している要求夜数や観測形態が、研究課題が掲げる科学的目標を達成するのに必要かつ十分である根拠を、分解能や必要なS/Nを示して具体的に記述してください。記述に必要な情報は、共同利用ウェブページ <http://seimei.nao.ac.jp/telescope/> とそのリンク先の各種情報をご覧ください。

2.2 Scientific Justification

- 記述言語：日本語もしくは英語で記述してください。
- 用紙と書式の制限：科学的意義をA4の紙面2ページ以内に記述してください。紙面の上下左右に15 mm程度のマージンを確保してください。文字サイズは10pt以上を御利用ください。その他の制限はありません。
- 研究課題の明示：先頭ページの冒頭に研究課題名を明示して下さい。
- 図表の挿入：色付きの図や表を挿入することができます。縮小して取り込んだ図を印刷した場合など、線や数値等が読み取りにくくなる場合がありますのでご注意下さい。提出はPDFで行って頂きますが、レフェリーは印刷して読む場合もあります。印刷して問題なく判読できるものであることを確認して下さい。また、軸の意味などが誰でも理解できるものとなっていることを心がけて下さい。
- Category「一般（クラシカル）」で、複数期の観測を必要とする場合：以下の項目について記述してください。

1. 研究課題の「全体計画」を記述してください。必ず複数期の観測を必要とする理由を示し、予定終了期を明示してください。
2. 「今期の計画」として、全体計画に対する今期の位置づけを示してください。
3. 旧岡山天体物理観測所188cm望遠鏡で関連する研究を行っていた場合は、その結果について記述してください。

なお、一般の審査は期ごとに行われます。複数期を必要とする観測が一度採択されたとしても、その後の期の観測時間が保証されるわけではありません。

3 提出要領

- 書類の提出方法：NOUSのWebサイトからの電子投稿のみです。
- 書類受領通知：申請の締切後、共同利用担当者が内容を確認し、受理した場合は2日以内(休日を除く)に、申請代表者の電子メールアドレスに連絡いたします。締切日から3日以上(休日を除く)経過しても受理の連絡がない場合には、岡山分室に電話(TEL: 0865-44-2155)で確認してください。
- **Application Form** は、NOUSの申請フォームに入力して作成・提出して下さい。
- **Scientific Justification** は、PDFファイル形式で作成し、NOUSの申請フォームからアップロードして提出して下さい。
- 申請者が大学院生の場合には指導教員の承諾書を指導教員から直接 seimei-openuse@nao.ac.jp へお送りください。
- **指導教員の承諾書**は、PDFファイル形式で提出してください。提出期限は観測申込の締切日時と同じとします。
- 指導教員の承諾書を提出する際のファイル名、電子メールSubject欄の文字列は、以下の例に倣ってください。
 - Case1：天文太郎さんが、1つのプロポーザルを提出する場合
指導教員の承諾書：tenmon_2020b_sv.pdf
Mail Subject：tenmon_2020b
 - Case2：天文太郎さんが、複数のプロポーザルを提出する場合
指導教員の承諾書：tenmon_2020b_sv_#.pdf
Mail Subject：tenmon_2020b_#
#に通し番号[1, 2, 3...]を記載する。

以上